

日遊協共生の森・東松島

2日間102人が汗 3150本

日遊協は6月19、20の2日間、宮城県東松島市矢本地区(東松島市大曲字新堀向国有林)0.63ヘクタールで、「日遊協共生の森・東松島」と名付けてクロマツ3150本を

津波で被災した海岸防災林を再生させる

林野庁の『みどりのきずな』再生プロジェクトの一環で、日遊協としては2013年5月の仙台市若林区荒浜地区0.16ヘクタール(クロマツ770本、ヤマザクラ70本)、昨年5月の同

県名取市下

増田地区0.17ヘクタール(クロマツ777本)に続く第3弾の植林。今回は面積が広いため、初めて2日間にわたる作業となった。

参加者は谷口久徳副会長(東北支部長)、知念安光理事(社会貢献・環境対策委員会担当理事)、社会貢献・環境対策委員会メンバー14人、北海道支部ボランティア隊6人、東北支部同30人、東京都・関東支部同20人、九州支部同19人、植林指導の埼玉県緑化推進委員会と埼玉森林サポータークラブ6人、事務局5人の計102人。

「伊達正宗ゆかりの」

前日の18日に一部が現地入りし、下準備を行った。広々とした平地に材木で組んだ柵が立てられて植林場所を区分していた。当日の19日、一行はJR仙台駅に近い日遊協東北支部から貸切りバスなどに分乗して現地に集合した。

午前11時半に開会式。谷口副会長は「今回は100人を超える方たちに

「日遊協」で検索!

The screenshot shows the homepage of NICHYUKYO (Japan Amusement Machine Association). A prominent banner at the top reads '遊技機アワード2015 発表' (Amusement Machine Award 2015 Announcement). Below the banner, there are several navigation buttons and a list of news items. The news items include dates and titles related to award ceremonies and training events. A hand cursor is pointing at the '遊技機アワード2015 発表' banner.

日遊協
ホームページ
更新情報

参加していただき、ありがとうございます。この辺りは昔、伊達正宗が拓いた場所です。皆様も伊達正宗になったつもりでがんばってください」とユーモアを交えて挨拶した。

「きつく踏み固めて」

この後、6班に分かれて植林がスタートした。まず、規則正しく測定された植林位置に長さ1mほどの目印の白竹を刺し、苗木を置く。スコップやシャベルで白竹のそばに30cm四方の穴を掘る。掘った土の一部を団子状に固めて穴の底に置き、その上に苗木の根を広げて置く。周りから土をかぶせて

苗木を軽く上下に揺すり、最後に足で踏んで空気を抜く。一連の手順の間、埼玉森林サポーターたちが、「きつく踏み固めてくださいね」などとコーチして回った。作業は、午後4時過ぎにいったん終了、宿泊先のホテルに引き上げた。20日は午前8時半に貸切りバス等でホテルを出発、9時に作業をスタートし、昼前に終了して解散した。一部はバスで一昨年と昨年の植林箇所(仙台市荒浜地区、名取市下増田地区)に向かい、下草取りなどの整備を行った。植えられたクロマツ、ヤマザクラはいずれも順調に育っていた。